

令和 2年度 行政評価事業別シート

実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	滝澤 和美
全体計画					経費区分	-			内線	3380	
事務事業名	7725 地域医療福祉ネットワーク推進事業										
所 属	100600 健康福祉部・健康づくり課										
施 策	01010200 地域医療を支える体制づくり										
予算 科目	会計	01 一般会計									
	科目	040101 衛生費・保健衛生費・保健衛生総務費									
	事業	040000 地域医療福祉ネットワーク推進事業									
事業目的						事業概要・効果					
住民が住み慣れた地域で安心して健やかに生活できることを目指し、地域医療福祉のネットワーク構築を推進する。						須高地域医療福祉推進協議会に専門委員会を設置。感染症及び大規模災害時の医療体制整備、医師・看護師不足、在宅医療福祉介護等の課題について取り組む。感染症早期探知システムによる情報収集・情報提供により感染症の拡大防止に繋げる。情報共有システムの導入により在宅医療24時間サポート体制を提供。※28年度から2会計。本システムでは30年度から一般会計地域医療福祉ネットワーク推進事業と介護特会在宅医療・介護連携推進事業を合算し事業費等を計上。※2019年度から係長級職員人件費を三市町村で負担。					

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
<ul style="list-style-type: none"> ●「感染症早期探知システム（安心ネット）による情報収集・情報提供 ○在宅医療連携拠点事業の取組（国より示された「在宅医療・介護連携推進事業8項目」に沿って、三市町村で取組を整理確認し、継続実施した。） 	<ul style="list-style-type: none"> ●感染症早期探知システム（安心ネット）による情報収集・情報提供 ○在宅医療・介護連携推進事業の取組（国より示された「在宅医療・介護連携推進事業8項目」に沿って、三市町村で継続して実施した。）
平成29年度 実績	平成30年度 実績
<ul style="list-style-type: none"> ●感染症早期探知システム（安心ネット）による情報収集・情報提供 ○在宅医療・介護連携推進事業の取組（国より示された「在宅医療・介護連携推進事業8項目」に沿って、三市町村で継続して実施した。） 	<ul style="list-style-type: none"> ●須高地域医療救護活動訓練の実施、安心して産み育てられる地域づくりの取組 ●感染症早期探知システムによる情報収集・情報提供 ○在宅医療・介護連携推進事業の取組（国より示された「事業8項目」に沿って、継続実施）
平成31年度 実績	令和 2年度 予定
<ul style="list-style-type: none"> ●安心して産み育てられる地域づくりの取組 ●感染症早期探知システムによる情報収集・情報提供 ○在宅医療・介護連携推進事業の取組（国より示された「事業8項目」に沿って、継続実施） ○リビング・ウィルの普及啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ●安心して産み育てられる地域づくりの取組 ●感染症早期探知システムによる情報収集・情報提供 ○在宅医療・介護連携推進事業の取組（国より示された「事業8項目」に沿って、継続実施） ○リビング・ウィル、人生会議の普及啓発

指標名	24時間在宅療養生活のための在宅医療安心ネットを活用した「須高在宅ネットワーク」の参加機関				
算式	「須高在宅ネットワーク」参加機関				単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
目標値	目標		45	48	50
	実績	40	41	41	42
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成31年度 決 算	令和2年度 予 算
事業費		2,271	2,579
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	592	676
一般財源		1,679	1,903
人員数(人)	正規職員	0.9	0.9
	嘱託職員	0.9	0.9
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	6,538.5	6,538.5
	嘱託職員	2,546.1	2,546.1
	臨時職員	0.0	0.0
	計	9,084.6	9,084.6
市民一人当たりの経費		0.2	0.2
総額		11,355.6	11,663.6

(単位：千円)

平成31年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	356	講演会・講座等講師謝礼
11節 需用費	441	消耗品、自動車燃料費、冊子印刷製本費等
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	1,474	嘱託職員報酬等、旅費、役務費、使用料及び賃借料

(単位：千円)

令和 2年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	370	講演会・講座等講師謝礼 等
10節 需用費	354	講演会用・事務用消耗品、10年まとめ冊子印刷製本費、自動車燃料費等
12節 委託費	200	須高地域医療情報ネットワークシステムプログラム修正委託料
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	1,655	会計年度任用職員報酬等、旅費、役務費、使用料及び賃借料

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	医療と介護の連携は、介護保険法の地域支援事業にも位置付けられており、地域包括ケアの構築に向け更に必要性は高い。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	在宅療養支援としてICTを活用しての取組や在宅で看取りができる地域を目指し「リビング・ウィル」を育む取組を行っている。実際に在宅で介護・看取りを経験されたご家族の体験談を聞いてみたいという住民の要望に対し、パネルディスカッションを開催しご家族の生の声を聴いていただく等、アドバンス・ケア・プランニング（人生会議）の啓発に繋がる取組を行うなど、地域課題を解決するために貢献している。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	向上
評価コメント	三市町村の負担金により事業を行っている。須坂市負担分については介護保険の地域支援事業交付金を活用している。 平成28年度からは、職員体制の見直しを行い3人から2人体制にしている。 2019年度からは係長級職員の人件費についても三市町村で負担している。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

須高地域の医療福祉介護の関係者が連携し、事業に取り組んでいる。
在宅安心ネットワークの活用度や参加機関の増加については、信州医療センターの電子カルテとの連携について、その動向を注視し取り組む必要がある。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
医療福祉介護の関係者が連携し、事業に取り組んでいる。リビング・ウィル(人生会議)の啓発など、地域課題の解決に、継続して取り組む必要がある。		課題を分析し、医療と住民・地域をつなぐ取組みの継続が必要	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	